

人口減少社会における高校教育のモデル化事業

【平成29年度当初予算額 5,365千円】

人口減少による課題

- ・高校の小規模化が進行
- ・小規模校で専門教員が不足
- ・過疎地にある高校の魅力化

求められるもの

- ・小規模校でも、大規模校と変わらない教育環境
- ・過疎地でも、都市部と変わらない教育環境
- ・生徒の学習ニーズに対応した教育課程の編成

事業の目的

- ・過疎地の生徒に対する教育機会の確保
- ・多様かつ高度な教育に触れる機会の提供
- ・人口減少地域の活力維持

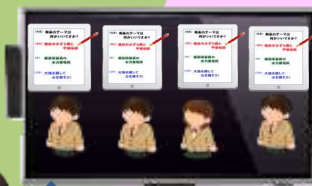
県西エリア

池田高校三好校



大学教授等による遠隔特別講座

総合教育センター



個別指導も可能に！

授業力UP！

徳島ならではのICTを活用した同時双方向型遠隔教育の実施体制を構築！

連携



池田高校本校



池田高校辻校

学校間連携でのTV会議システムの活用



配信側 (池田高校三好校)



受信側 (池田高校辻校)

県南エリア



海部高校



事業内容

平成27年度

県南部の「海部高校」、県西部の「辻高校」で遠隔教育を試行

平成28年度

県西部は「三好高校」に拡充

海部高校で、通年の遠隔授業による単位認定をスタート！

平成29年度

県西部は「池田高校本校」に拡充し、ICTを3校の学校間連携に活用！

「遠隔授業支援ソフト」と「タブレット」の導入により、個々の生徒の学習状況が映像化でき、「個別学習」や「共働学習(アクティブラーニング)」にも対応！

小規模化する高校で魅力のある教育活動を展開

担当:教育創生課